

2022年

# 秋の中野区交通安全運動 実施要領

～世界一の交通安全都市TOKYOを目指して～

## 【運動の期間】

令和4年9月21日（水）～30日（金）

## 【交通事故死ゼロを目指す日】

令和4年9月30日（金）

中野区交通安全対策協議会  
中野区



# 目次

運動の目的 運動の進め方 構成機関・団体	1
中野区における交通事故統計	2
運動重点	
1 子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全確保	3
2 夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の根絶	5
3 自転車の交通ルール遵守の徹底	8
地域重点	
二輪車の交通事故防止	11
電動キックボード等の交通ルール遵守の徹底	12
参考資料	
「交通安全に関する講習会」	13

## **【自転車安全利用五則】**

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用

## 運動の目的

区民一人ひとりが交通安全に関心を持ち、交通ルールの遵守と正しい交通マナーを実践するほか、各構成機関・団体は相互の連携を図りながら協力するように努め、悲惨な交通事故を防止していくことを目的とする。

## 運動の進め方

各構成機関・団体は、それぞれの地域、職域の特性に応じた取組を行い、この運動の趣旨が区民各層に定着して、交通事故の防止に寄与するように努め、この運動を中野区全体の交通安全運動として推進する。

## 構成機関・団体

### 中野区交通安全対策協議会

中野区、中野区議会、中野区教育委員会、警視庁中野警察署、警視庁野方警察署、東京消防庁中野消防署、東京消防庁野方消防署、東京都第三建設事務所、新宿労働基準監督署、中野交通安全協会、野方交通安全協会、中野区町会連合会、中野区民生児童委員協議会、中野区立小学校PTA連合会、中野区立中学校PTA連合会、中野区私立幼稚園連合会、東日本旅客鉄道(株)、西武鉄道(株)、関東バス(株)、京王バス東(株)、新中野個人タクシー協同組合、野方個人タクシー協同組合、東京都自転車商協同組合中野支部・野方支部、中野区商店街連合会、中野区福祉団体連合会、中野区友愛クラブ連合会、中野明るい社会づくりの会、中野区内関係行政機関・民間団体

## 中野区における交通事故統計

### 【中野区内における交通事故】

		2019年	2020年	2021年	2021年 (上半期)	2022年 (上半期)
交通事故件数		681	628	576	273	276
死傷者数		746	681	615	286	289
(死傷者数のうち)	死者数	1	3	3	2	3
	重傷者数	43	40	24	11	15
	軽傷者数	702	638	588	273	271

### 【中野区内における子どもの交通事故】 (0～15歳)

		2019年	2020年	2021年	2021年 (上半期)	2022年 (上半期)
子ども事故件数		56	45	44	16	16
子ども関与事故件数		55	44	44	16	16
子ども関与率 (%)		8.1	7.0	7.6	5.9	5.8
子ども関与率順位【49区市】(位)		5	11	5	21	23

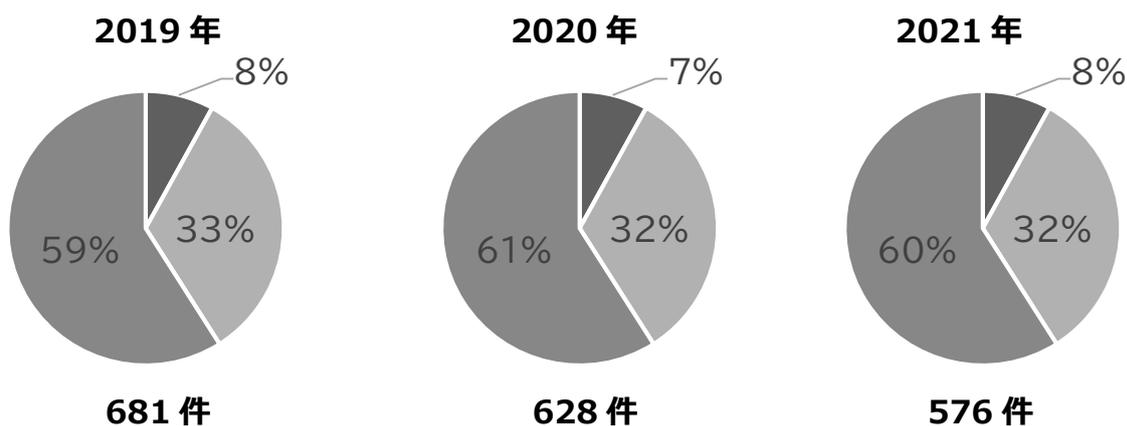
### 【中野区内における高齢者の交通事故】 (65歳以上)

		2019年	2020年	2021年	2021年 (上半期)	2022年 (上半期)
高齢者事故件数		223	206	200	93	97
高齢者関与事故件数		213	200	185	84	92
高齢者関与率 (%)		32.7	31.8	32.1	30.8	33.3
高齢者関与率順位【49区市】(位)		39	28	27	30	26

### 【交通事故件数における当事者の割合】

#### 凡例

■ 子ども ■ 高齢者 ■ その他



## 運動重点1 子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保

### 【趣旨】

交通事故死者数全体のうち、歩行中の割合が最も高く、歩行者側にも走行車両の直前・直後横断や横断禁止場所横断、信号無視等の法令違反が認められる。また、次代を担う子どものかけがえのない命を社会全体で交通事故から守ることが重要であるにもかかわらず、幼児・児童の死者・重傷者は歩行中の割合が高く、依然として道路において子どもが危険にさらされている。さらに、歩行中の交通事故による死者数のうち高齢者の占める割合が高い。このため、子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全確保を図る必要がある。

### 【中野区の現状】

昨年の中野区内における交通事故件数のうち、歩行者の事故は118件で前年比-4件であるが、交通事故全体の20.5%を占め、前年より1.1ポイント増加している。子どもと高齢者の歩行者事故の割合は前年の33.6%から41.5%に増加し、依然として高い状態にある。歩行者事故のうち14件(11.8%)は、歩行者側の法令違反である。

また、本年上半期の歩行者事故は、52件で前年比-1件と同水準で推移している。

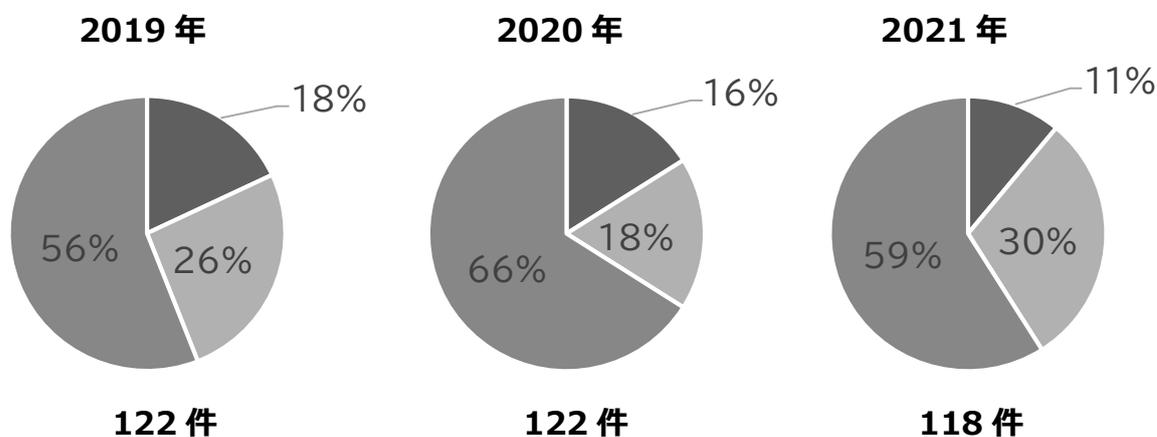
### 【中野区内における歩行者事故】

	2019年	2020年	2021年	2021年 (上半期)	2022年 (上半期)
歩行者事故件数	122	122	118	53	52
(歩行者事故のうち) 子どもの件数	22	19	12	5	5
高齢者の件数	32	22	37	13	16
(歩行者事故のうち) 歩行者側違反有り	27	29	14	7	9

### 【歩行者事故件数における当事者の割合】

#### 凡例

■ 子ども ■ 高齢者 ■ その他



## 【推進項目】

### 1. 歩行者の交通ルール遵守の徹底

- ▼ 歩行者に対し、横断歩道を渡ること、信号機のあるところでは、その信号に従うこと等の基本的な交通ルールの周知に加え、自らの安全を守るための交通行動として、運転者に対して横断する意思を明確に伝え、安全を確認してから横断を始めること、横断中も周りに気を付けること等を促す呼び掛けの推進
- ▼ 歩行中児童の交通事故の特徴（飛び出しによる死者・重傷者が多いなど）等を踏まえた児童に対する交通安全教育等の推進
- ▼ 安全に道路を通行することについて、日常生活や教育現場における保護者や教育関係者からの幼児・児童への教育の推進
- ▼ 高齢歩行者の死亡事故の特徴（65歳未満と比較して道路横断中が多いなど）を踏まえ、高齢者自身が、加齢に伴って生ずる身体機能の変化（例えば、認知機能の低下、疾患による視野障害等の増加、反射神経の鈍化、筋力の衰えなど）を理解し、安全な交通行動を実践するための交通安全教育等の推進
- ▼ 反射材用品等の視認効果や使用方法等の周知と自発的な着用の促進

### 2. 歩行者の安全確保

- ▼ 通学路、未就学児を中心に子供が日常的に集団で移動する経路等における見守り活動等の推進
- ▼ 「ゾーン30プラス」の整備を始めとする生活道路対策の推進
- ▼ 通学路交通安全プログラム等に基づく点検や対策の推進

## 【重点の取組方法】

### <家庭・地域では>

- ▽ 家庭で交通安全について話題にするなど、交通安全意識を高めましょう。
- ▽ 信号を守る、必ず横断歩道を渡るなど、交通ルールを守りましょう。
- ▽ 保護者の皆さんや周囲の大人が交通ルールを守り、子どものお手本になりましょう。
- ▽ 見通しの悪い交差点などでは、子どもや高齢者に対して積極的に声を掛けるなど、交通事故から守りましょう。

### <運転者は>

- ▽ 子どもは遊びに夢中になって道路に飛び出してしまうことがあります。特に、住宅街や裏通りの交差点では、子どもの飛び出しに注意しましょう。
- ▽ 高齢者の交通事故は道路横断中に多く発生しています。横断歩道やその近くを通行する際は、安全確認を徹底しましょう。

### <学校・職場等では>

- ▽ 学校では、日頃から交通安全について指導しましょう。
- ▽ 職場では、子どもや高齢者がよく通る場所を確認し、注意して通行しましょう。
- ▽ 広報紙等で子どもと高齢者を交通事故から守るための広報啓発を進めましょう。

## 運動重点2 夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の根絶

### 【趣旨】

日没時間が急激に早まる秋口以降は夕暮れ時や夜間に重大交通事故が多発しており、死亡事故の第1当事者の多くは自動車で、歩行者の死亡事故の多くが道路横断中に発生している。また、妨害運転（いわゆる「あおり運転」。以下同じ。）等の悪質・危険な運転による交通事故や電動キックボード等による交通事故が発生し、75歳以上の運転者については、75歳未満の運転者と比較して免許人口当たりの死亡事故件数が多く、その要因としてハンドルやブレーキの操作不適が多くなっている。加えて、自動車乗車中における後部座席シートベルトの着用率やチャイルドシートの適正使用率がいまだ低調である。さらに、飲酒運転による悲惨な交通事故が依然として発生している。このため、夕暮れ時と夜間の歩行者事故等の防止及び飲酒運転の根絶を推進する必要がある。

### 【中野区の現状】

昨年の中野区内における交通事故発生件数を時間帯別で見ると、夕方の午後4時から午後8時の間に141件、夜間の午後8時から翌朝6時の間に101件発生しており、事故全体の約42%と高い割合である。

また、自動車事故は385件で全体の66.8%を占めており、対歩行者との事故件数は73件である。

本年上半期の自動車事故は180件で前年比-8件で減少しているが、対歩行者の事故は31件と前年比+9件と増加している。

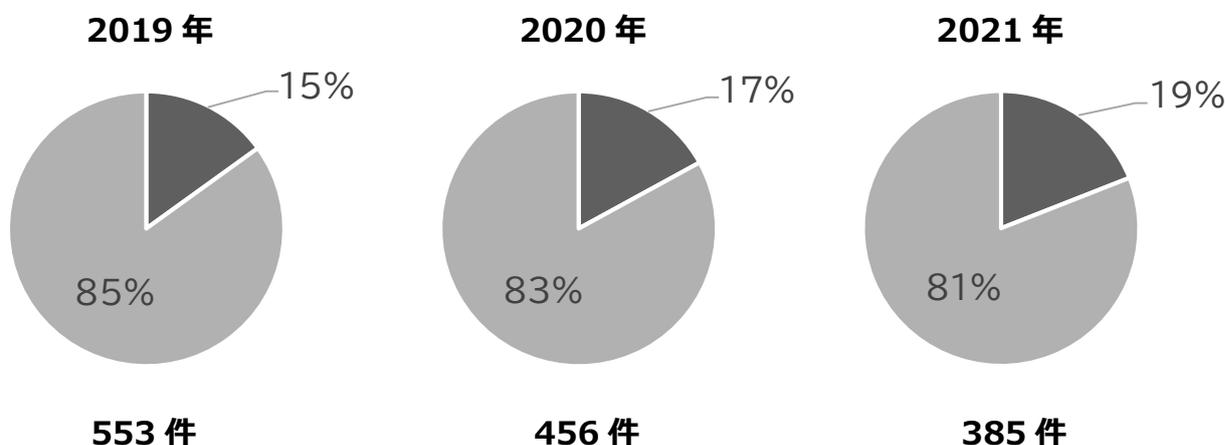
### 【中野区内における自動車事故】

	2019年	2020年	2021年	2021年 (上半期)	2022年 (上半期)
自動車事故件数	553	456	385	188	180
(自動車事故のうち) 対歩行者の件数	84	78	73	22	31

### 【自動車事故件数における対歩行者の割合】

#### 凡例

■ 対歩行者 ■ その他



### 【中野区の現状】（飲酒運転）

昨年の都内全体の飲酒運転事故は、137件であった一方、中野区内では1件と比較的少ない数であった。

本年上半期の区内の飲酒運転による事故は0件であるが、飲酒運転は重大事故につながる可能性が高く、社会的反響も大きいことから、今後も継続した取組が必要がある。

### 【飲酒運転事故件数】（単位：件）

	2019年	2020年	2021年	2021年 (上半期)	2022年 (上半期)
東京都内	152	151	137	64	63
中野区内	3	3	1	0	0

### 【推進項目】

#### 1. 夕暮れ時と夜間の交通事故防止

- ▼ 夕暮れ時と夜間における死亡事故の特徴（日没後1時間の横断中歩行者の死亡事故が多いなど）を踏まえた交通安全教育等の実施
- ▼ 夕暮れ時における自動車前照灯の早めの点灯の励行
- ▼ 夜間の対向車や先行車がない状況におけるハイビームの活用
- ▼ 自動車運送業等の事業者による従業員への夕暮れ時と夜間運転時の注意喚起

#### 2. 運転者の歩行者等への保護意識の向上

- ▼ 交通ルールの遵守と歩行者や他の車両に対する「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持って通行する交通マナーの呼び掛け
- ▼ 横断歩道等に歩行者等がないことが明らかな場合を除き、直前で停止可能な速度で進行する義務と横断歩道等における歩行者等優先義務等の遵守による歩行者等の保護の徹底
- ▼ 運転者に対し、歩行者等の保護の徹底を始め、安全に運転しようとする意識及び態度を向上させるための交通安全教育や広報啓発の推進
- ▼ 運転中のスマートフォン等の使用等の危険性についての広報啓発の推進

#### 3. 飲酒運転の根絶

- ▼ 交通事故被害者等の声を反映した広報啓発活動等のほか、飲食店等における運転者への酒類提供禁止の徹底やハンドルキーパー運動の促進など、地域、職域等における飲酒運転根絶への取組を推進し、「飲酒運転を絶対にしない、させない」という「飲酒運転を許さない社会環境」の醸成
- ▼ 運転者の点呼時におけるアルコール検知器の使用促進や業務に使用する自動車の使用者等における義務の遵守の徹底

#### 4. 妨害運転等の防止

- ▼ 妨害運転等の悪質・危険な運転についての広報啓発の推進
- ▼ 「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持った運転の必要性、ドライブレコーダーの普及促進等に関する広報啓発の推進

## 5. 二輪車運転者等に対する広報啓発

- ▼ 二輪車の特性の周知やヘルメットの正しい着用とプロテクターの着用による被害軽減効果に関する広報啓発の推進
- ▼ 電動キックボード等の利用者に対する販売事業者等と連携した安全利用についての広報啓発の推進

## 6. 高齢運転者の交通事故防止

- ▼ 高齢運転者に対する加齢等に伴う身体機能の変化が運転に及ぼす影響等を踏まえた交通安全教育及び広報啓発の推進
- ▼ 衝突被害軽減ブレーキ等の先進安全技術を搭載した安全運転サポート車の普及啓発とサポートカー限定免許制度についての広報啓発の推進
- ▼ 身体機能の変化等により安全運転に不安のある運転者等に対する安全運転相談窓口の積極的な周知及び利用促進と運転免許証の自主返納制度及び自主返納者に対する各種支援施策の広報啓発による自主返納の促進

## 7. 後部座席を含めた全ての座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底

- ▼ 全ての座席におけるシートベルト着用とチャイルドシートの使用義務の周知・指導の徹底及びその必要性・効果に関する理解の促進
- ▼ シートベルトの高さや緩みの調整，チャイルドシートの確実な取付方法やハーネス（肩ベルト）の締付け方等，正しい使用方法についての広報啓発の推進
- ▼ 高速乗合バスや貸切バス等の事業者に対する全ての座席におけるシートベルト着用を徹底させるための指導・広報啓発の推進

### **【重点の取組方法】**

#### **<家庭・地域では>**

- ▽ 暗くなつてからの外出は、明るく目立つ服装を心掛け、反射材を身に付けて、車の運転者に自分の存在をアピールしましょう。
- ▽ 乗車中は、全ての座席でシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しましょう。

#### **<運転者は>**

- ▽ 自動車を運転する時は、午後4時にはライトを点灯しましょう。
- ▽ カーブの手前では十分に速度を落とすなど、自己の運転技量を過信することなく、事故防止に努めましょう。
- ▽ 自動車の運転者も二輪車の特性を理解して運転しましょう。

#### **<学校・職場では>**

- ▽ 事業所等の管理者は、従業員に対し、全ての座席についてシートベルトの着用を指導しましょう。

### 運動重点3 自転車の交通ルール遵守の徹底

#### 【趣旨】

自転車は身近な交通手段であるが、自転車乗用中の交通事故死者数が減少傾向にある一方で、交通事故死者数全体に占める割合はほぼ横ばいで推移し、自転車関連事故件数では、「自転車対歩行者」がほぼ横ばい、「自転車単独」が増加している。また、自転車乗用中の交通事故死傷者数のうち10歳から25歳未満の若年層の割合が高い。さらに、自転車関連の死亡・重傷事故は、自転車側の多くに法令違反があると認められる。このため、自転車の交通ルール遵守の徹底が必要である。

#### 【中野区の現状】

昨年の中野区内の自転車関与事故は342件と前年に比べ8件減少したが、自転車関与率は59.4%で、都内平均の43.6%を上回っている。

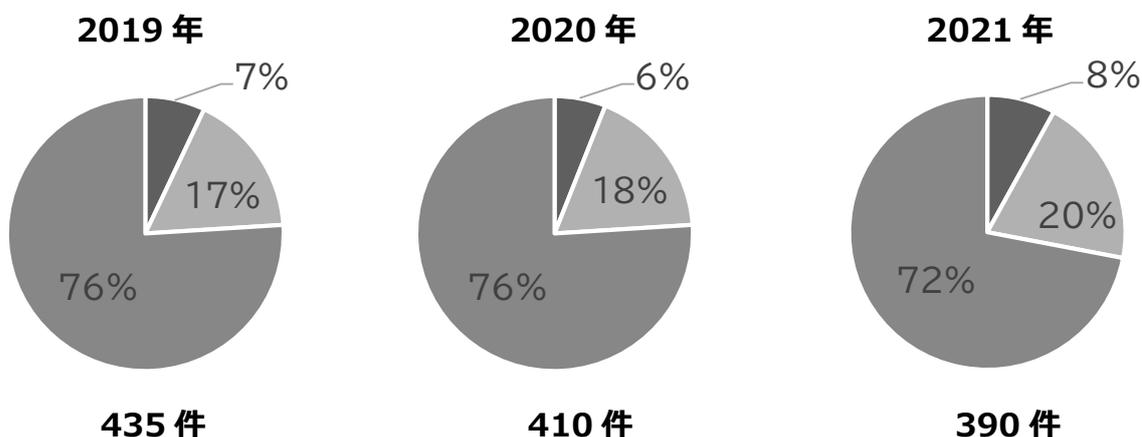
本年上半期の自転車関与事故は183件で前年比+22件と増加しているほか、自転車関与率は66.1%と都内平均を上回っている。また、上半期に区内で発生した死亡事故3件のうち2件は自転車に関与する事故であった。

#### 【中野区内における自転車関与事故】

	2019年	2020年	2021年	2021年 (上半期)	2022年 (上半期)	
自転車事故件数	435	410	390	182	208	
自転車関与事故件数	372	350	342	161	183	
自転車関与率(%)	54.6	55.7	59.4	59.0	66.1	
自転車関与率順位【49区市】(位)	2	3	4	4	1	
(自転車事故のうち)	子ども	32	26	32	12	11
	高齢者	74	75	78	36	40

#### 【自転車事故件数における当事者の割合】

凡例  
 子ども  
 高齢者  
 その他



**【中野区内における自転車関与事故の相手当事者】** (単位：件)

	2019年	2020年	2021年	2021年 (上半期)	2022年 (上半期)
乗用車	101	83	78	42	51
貨物車	60	45	43	20	22
特殊車	1	0	0	0	0
二輪車	18	25	22	6	9
自転車	63	60	48	21	25
歩行者	38	44	44	22	21
不明・その他	5	8	6	2	4
単独	86	85	101	48	51
計	372	350	342	161	183

**【推進項目】**

1. 自転車の交通ルール遵守と交通マナー実践の徹底

- ▼ 原則として車道通行、車道は左側通行、歩道は車道寄りを徐行など「自転車安全利用五則」に定める通行方法や自転車通行空間が整備された箇所における通行方法の周知と遵守の徹底
- ▼ 信号の遵守や交差点での一時停止・安全確認のほか、二人乗り、並進、飲酒運転、夜間の無灯火走行の禁止等交通事故防止のための基本的な交通ルールの周知と遵守の徹底
- ▼ イヤホンやスマートフォン等使用時、傘差し等の片手運転の危険性の周知と指導の徹底
- ▼ 自転車をを用いた配達業務中の交通事故を防止するため、関係事業者等に対する交通安全対策の働き掛けや自転車配達員に対する街頭における指導啓発、飲食店等を通じた配達員への交通ルール遵守の呼び掛け等の推進

2. 自転車利用者等の安全確保

- ▼ 令和4年の改正道路交通法に基づき公布日（令和4年4月27日）から1年以内に施行されることとなる全ての自転車利用者に対するヘルメット着用の努力義務化を踏まえた着用の徹底に向けた広報啓発の推進
- ▼ 幼児を幼児用座席に乗車させる際のシートベルト着用及び幼児二人同乗用自転車の乗車・降車時における転倒等の具体的な危険性の周知や安全利用に関する広報啓発の推進
- ▼ 夕暮れ時の早めの灯火点灯と反射材用品等の取付促進による自転車の被視認性の向上
- ▼ 自転車の安全を確保するための定期的な点検整備の促進
- ▼ 自転車事故被害者の救済に資するための損害賠償責任保険等への加入促進

### **【重点の取組方法】**

#### **<家庭・地域では>**

- ▽ 家庭で交通安全について話題にするなど、交通安全意識を高めましょう。
- ▽ 自転車の安全を確保するための定期的な点検を行いましょう。
- ▽ 保護者の皆さんや周囲の大人が交通ルールを守り、子どものお手本になりましょう。

#### **<運転者は>**

- ▽ 自転車を運転する時はヘルメットを着用し、周りの安全を確認して運転しましょう。
- ▽ 自転車安全利用五則を実践して、交通ルールを遵守しましょう。
- ▽ 夕暮れ時には早めの灯火点灯と反射材用品を活用し、被視認性を高めましょう。

#### **<学校・職場では>**

- ▽ 交通安全運動等のリーフレットを活用して、交通ルールを指導しましょう。
- ▽ 警察署や自治体と連携して、自転車実技教室などを開催し、交通安全意識を高めましょう。

## 地域重点1 二輪車の交通事故防止

### 【趣旨】

令和4年上半期の都内における交通事故死者数は57人であり、そのうち二輪車（原付車含む）は19人と全体の3分の1を占め、状態別では歩行者に次いで2番目に多い状況である。また、通勤通学の時間帯の発生が多いことや事故当事者は幅広い年代に及んでいることから、ヘルメットの正しい着用や胸部プロテクターの装着を促進し、初心者や運転に不慣れな利用者に対する交通安全啓発の必要があること。

### 【中野区の現状】

昨年の中野区内における交通事故のうち、二輪車（原付車を含む）が関与した事故は106件あり、全体の18.4%を占めている。二輪車事故件数、関与事故件数は共に一昨年に比べ減少したが、依然として全体の2割近くを占めている。

本年上半期の二輪車関与事故は35件で前年比-16件と減少しているが、二輪車が関与する事故は重大事故に発展する可能性が高いことから継続した取組が必要である。

### 【中野区内における二輪車事故】

	2019年	2020年	2021年	2021年 (上半期)	2022年 (上半期)
二輪車事故件数	129	134	112	53	37
二輪車関与事故件数	123	130	106	51	35
二輪車関与率(%)	18.1	20.7	18.4	18.7	12.7
二輪車関与率順位【49区市】(位)	33	17	28	23	43

### 【推進項目】

1. 二輪車利用者の法令遵守と運転マナーの向上など二輪車の安全利用についての啓発推進
2. 一般ドライバーに対する、二輪車の特性の理解度の醸成、交差点での安全確認の励行などの啓発促進

### 【重点の取組方法】

<p>&lt;家庭・地域では&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▽ 交通事故のうち、二輪車事故の占める割合が高いことを認識し、安全運転を心がけましょう。</li><li>▽ 二輪車で無謀運転、危険・迷惑行為をしないよう呼びかけましょう。</li></ul> <p>&lt;運転者は&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▽ カーブの手前では十分に速度を落とすなど、自己の運転技量を過信することなく、事故防止に努めましょう。</li><li>▽ ヘルメットを正しくかぶり、プロテクターで体を守りましょう。</li><li>▽ 車の運転者も二輪車の特性を理解して運転しましょう。</li></ul> <p>&lt;職場では&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▽ 警察署と連携して、二輪車教室を開催するなど、二輪車の特性を踏まえた安全運転を指導しましょう。</li></ul>
--

## 地域重点2 電動キックボード等の交通ルール遵守の徹底

### 【趣旨】

都内における電動キックボード等の利用者増加に伴い、一部の利用者による飲酒運転等の悪質・危険な運転が社会問題となっているほか、利用者全体に対する交通ルールの浸透もいまだ十分ではない状況である。利用者及び販売店等に対して、運転免許の必要性、歩道通行の禁止、車道における左側通行、飲酒運転禁止等の交通ルール遵守の徹底や、保安基準の確実な適合、自賠責保険の加入等について周知徹底する必要があること。

### 【中野区の現状】

現在、中野区では3社の電動キックボードシェアリング事業者による実証実験中であり、今後は利用者の増加が見込まれる。また、飲酒運転をはじめとする危険走行が社会問題となっていることから、各事業者と連携した安全体制の構築、個人所有者に対するルール・マナーの周知徹底を図っていく必要がある。

### 【推進項目】

1. 街頭キャンペーンや広報を通じて、利用者に対する基本的なルール・マナーの周知徹底を図る。
2. 電動キックボードシェアリング事業者と連携し、区内の交通状況や電動キックボードの利用状況などに基づいた安全体制の構築を行う。

### 【重点の取組方法】

#### <運転者は>

- ▽ 機体の性能、性質を理解し、安全運転を心がけましょう。
- ▽ 原動機付自転車を運転することができる運転免許が必要です。
- ▽ ヘルメットの着用義務等があります。
- ▽ 車道を通行してください。
- ▽ 制動装置、前照灯、後写鏡等を備えていることが必要です。
- ▽ 自賠責保険（共済）の契約が必要です。
- ▽ 区市町村税条例で定める標識（ナンバープレート）を取り付けてください。

#### <事業者は>

- ▽ 電動キックボードを販売する際に、上記の点について購入者に丁寧に説明しましょう。

## 参考資料 交通安全講習会

交通事故の発生状況や道路交通関係法規などの講話により、交通安全意識の向上を図る「交通安全講習会」を開催しています。講習会の参加者には、中野区から2,000円を上限とする自転車点検整備費用の助成券を発行します。

### 【中野警察署主催】

予約受付期間：8月12日（金）～22日（月）8：30～17：00

予約先：中野警察署交通総務係 電話：5925-0110

日にち	時間	場所	住所
8月25日(木)	18時～	中野警察署	中央2-47-2
26日(金)	10時～	南中野区民活動センター	弥生町5-5-2
27日(土)	10時30分～	中野警察署	中央2-47-2
29日(月)	18時～	中野警察署	中央2-47-2
30日(火)	10時～	東中野区民活動センター	東中野5-27-5

### 【野方警察署主催】

予約受付期間：8月29日（月）～9月2日（金）8：30～17：00

予約先：野方警察署交通総務係 電話：3386-0110

日にち	時間	場所	住所
9月9日(金)	18時～	新井区民活動センター	新井3-11-4
10日(土)	10時～	沼袋区民活動センター	沼袋2-40-18
11日(日)	10時～	鷺宮区民活動センター	鷺宮3-22-5
13日(火)	18時～	野方区民活動センター	野方5-3-1